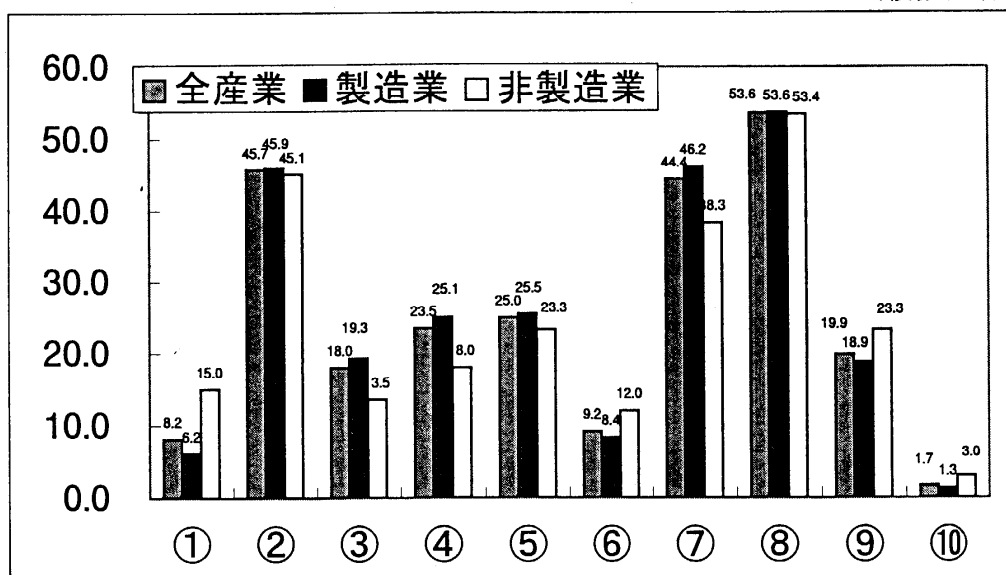


## 17. 新規事業投資について

### (1) 新規事業投資を行う際の問題点

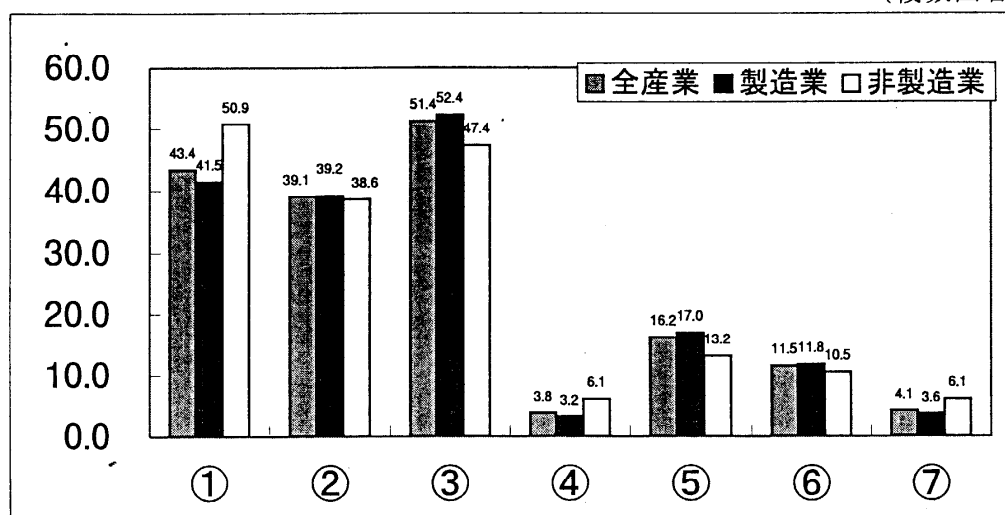
(複数回答)



- ① 公的規制の存在が新規事業の存在を妨げている点
- ② 新規事業の販売等のノウハウの獲得が困難な点
- ③ 新規事業分野の情報の入手が困難な点
- ④ 本業の企業収益の悪化から投資選別を行わざるを得ない点
- ⑤ 人材確保が困難である点
- ⑥ 資金調達面等での制約が生じている点
- ⑦ 技術的ノウハウが不足している点
- ⑧ 進出部門の将来性が不確実であり、リスクが大きい点
- ⑨ 進出部門への参入企業が多く、競争が激しい点
- ⑩ その他

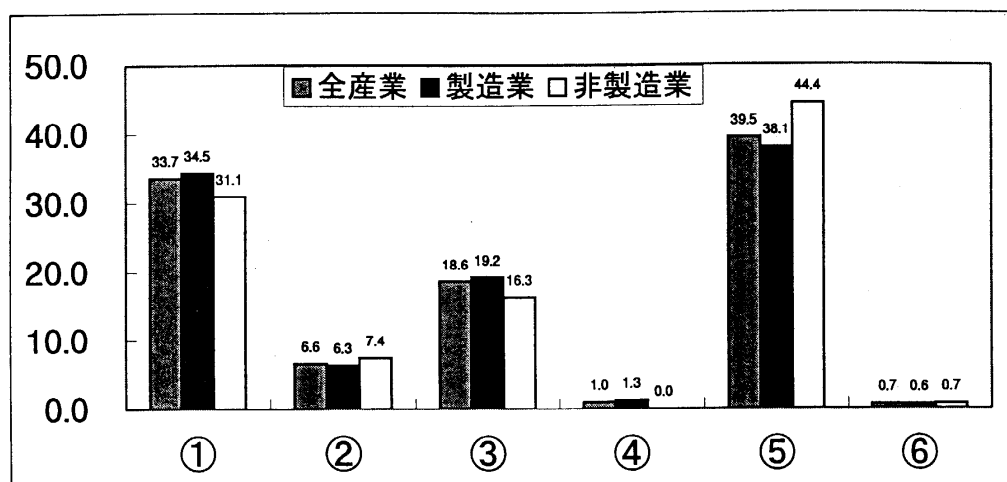
### (2) 社内ベンチャーを行う際の要望事項

(複数回答)



- ① 連結納税制度の導入
- ② 分社化手続きの簡素化
- ③ 税制、財投等の財政支援策
- ④ 店頭株式市場の活性化
- ⑤ 大学の有効利用（人材交流、技術移転、共同開発等）
- ⑥ 転職に際して不利にならないような年金制度への見直し
- ⑦ その他

(3) 新規事業を行う際に最も重視する点



- ① 収益の確実性を重視する
- ② 投資回収期間が短い事業を中心に、収益の即効性を重視する
- ③ 中核となる事業分野を想定しているため、進出先分野の市場の将来性を重視する
- ④ 既存事業との関連性のない、進出先分野の新規性を重視する
- ⑤ 既存事業分野との関連性を前提として、総合的な効率性の向上を重視する
- ⑥ その他